

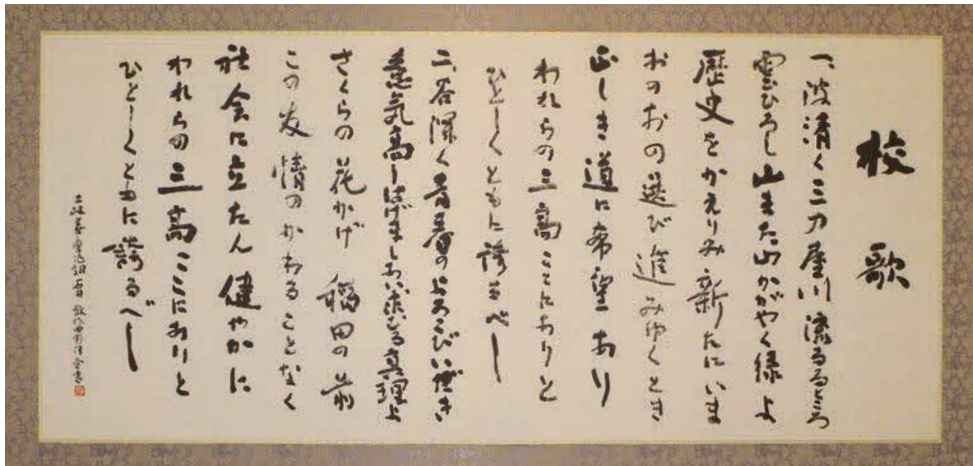


編集・発行

島根県立三刀屋高等学校

雲南会

電話 (0854) 45-2721  
郵便振替口座 01380-3 8968



創立六十周年記念事業で旧図書館を同窓会館として改築した際、倉庫に保存されていた書を額装し、その際命名された「蒼雲館」の東壁面に掲額したもの。この書は実は二枚あり、もう一枚は現在会議室正面に。書は元島根大・野津栄先生。

### 開校百年を目前に

—小文「高三の夏」、再考



雲南会会長

佐藤 茂

雲南会会員の皆さんには、お変わりなく元気にお過ごしのことと存じます。

最近、旧国鉄バス三刀屋駅の二階正面に、「令和6年三刀屋高校は開校100周年を迎えます」という横幕(写真次頁)が掲げられ、また校地入口の坂道にも、同様の看板が設置されています。こうして愈々百周年も間近となり、記念特集号も二号目となります。

いつものように机の前で何を書こうか思案していると、窓下のコメツブツメツサの長い蔓先にある黄色い小花が少し揺れて、僅かな風の気配を感じます。……ここまで書いて来て何気なく思い出したのは、もう二十年も前に書いた次の小文です。

「高三の夏、一学期の期末試験を終え、七月末までの補習がやっと終ると、僕らは中国地方一周の自転車旅行を思い付いた。受験を意識はしつつ、しかし遠い寺の鐘を聞くようにしか思っていないからだ(もともと、もう50年も前のことなので)。

ところがこれがある事情で無理だと分かるや、誰が言うともなく海水浴へ行くことになる。しかしこの海水浴で、僕たちは少年の痛ましい海難事故に遭

遇してしまう。連れの誰もが無言だった。その場に居ながら何の力にもなれなかった非力への悔しさが、それから以後長く深く心から離れなかった」

翌年三月、私は故郷を離れ、遠い地で下宿生活を始めました。この頃、何を思っただけは忘れませんが、ハーマン・メルヴィルの物語『白鯨』を読むことになりました。

「捕鯨船でアメリカ東部を出航した船長エイハブは、大海原で遂に伝説の白鯨モービー・デイクに出くわす。以前自分の片脚をもぎ取った恐るべき敵を倒そうと、勇猛なエイハブは果敢に死闘を挑む。が、とうとう海底深く引きずり込まれてしまう。

しかし……、もしエイハブの擽猛な復讐さえなければ、白鯨もまた決して暴れなかつた筈。元々この小説はユダヤの神話を下敷きに書かれたものらしく、実はエイハブが神ではなく、神は逆に白鯨に付託されている、とか」

卒業間近の夏の痛ましい少年の死と、この後読んだ小説がどれも薄味に感じられる程だったこの大作『白鯨』を引き合いに、後年私は小文の最後を次のように括りました。

響を受けていくことか。やがてそこから己の思想を形作り、ある人は苦悶のうち、又ある人は天使のような清廉に身を置いて生涯を閉じるものなのかもしれない(そのどちらが幸せかは別として)」と。

あの頃の僕たちと同じ多感な思春期を生きる三高生は、この開校百年という大きな節目に立会い、何を思い、考えるだろうか。本校誕生に東奔西走し私財を擲って開校に尽力した先覚者の先見性に、雲南住民の時代の閉塞感を打ち破る興望に、そしてそれ以後百年の長い歴史に……。願わくは高校生生活途上でのこの得がたい体験を、一人一人が血肉化し、それを人生の糧として励まされていってほしい。今、机の前で頻りにそんなことを考えています。

私たち雲南会はそれ故に、組織を挙げてこの百年事業を力強く支えよう、と思うのです。

### ご挨拶



校長  
本間 達也

今年度、第36代校長として着任しました本間達也と申します。本校第35期卒業生です。卒業生の校長としては第8代となると先輩諸氏から伺いました。来年度開校100周年を迎える母校の校長として勤務させていただくことに喜びを感じるとともに、日に日に責任の重さを痛感しているところです。

改めまして、雲南会の皆様には、益々ご健勝ご活躍のこととお喜び申し上げます。日頃より本校教育活動におきまして、物心両面にわたりご支援とご協力を賜っておりますことに、衷心

から御礼申し上げます。

さて、5月8日の新型コロナウィルス感染症5類移行後は、様々な教育活動も徐々にコロナ禍以前の状況を取り戻しつつあり、学校にもようやく生徒たちの明るい笑い声が聞こえるようになってきました。先日の県総体も入場制限等のない開催となり、各競技会場では選手たちが久しぶりに大きな声援のもとで試合に臨みました。その県総体では、男子ソフトボール部が優勝したほか、サッカー部は優勝した立正大浜南高校に0-1で惜敗するも創部以来の快挙であるベスト4進出を果たしました。その他の部活動も、最後まであきらめず試合に向き合い練習の成果を発揮してくれました。7月には、野球部が甲子園出場を目指して県大会に臨みます。文科系部活動では、今年度の高等学校総合文化祭(総文祭)に出場する演劇部のほか、今年度部として活動を開始したダンス部や吹奏楽部、書道部、JRC部などが地域のイベント等に参加させていただきながら地域の皆様と協働して雲南市を盛り上げようと元気に活動しています。

今年度は、本校が総合学科に移行して20年目の節目の年でもあります。その節目の年にあたり「向き合う。その先に……」を学校の合言葉としました。来年度の開校100周年を控え、今年度開校までの先人の願いや総合学科開設当初の思いに「向き合う」ことにより、校歌にある「歴史をかえりみ新たにいま」のとおり三刀屋高校の目指すべき新たな世界が開けていくと考えます。雲南会の先輩方が築いてこられた伝統を受け継ぎ、三高の新たな歴史をつくっていくよう、生徒に向き合いながら日々の教育活動を進めてまいります。今後ともご指導、ご支援のほどよろしくお願いたします。

最後になりましたが、雲南会の皆様の益々のご健勝とご活躍を祈念して、ご挨拶いたします。

# 令和五年度 雲南会総会開催

三年間開催できなかった「雲南会総会」は、今秋やつと開催の運びとなりました。お誘い合わせの上ご参加くださいますよう、ご案内申し上げます。

なお、総会終了後、高校44期の皆さんにお世話を願います。懇親会を催す予定です。同期の方々には勿論、先輩・後輩と杯を上げ交わし、楽しいひと時をお過ごしください。尚、この計画は担当期と擦り合わせによる変更も予想されます。

## 総会

◎日時 令和5年10月22日(日)

受付 午後1時30分～  
午後2時～

◎会場 三刀屋交流センター

◎次第

- (一) 開会のことば
- (二) 物故者への黙祷
- (三) 校歌斉唱
- (四) 会長挨拶
- (五) 校長挨拶
- (六) 来賓祝辞
- (七) 特別会費贈呈
- (八) 来賓紹介
- (九) 議事
- (十) 令和4会務報告・決算・監査報告
- (十一) 令和5会務計画・予算
- (十二) 会報「うんなん」について
- (十三) 旧校歌斉唱
- (十四) 閉会のことば

## アフタクション

◎時間 午後3時15分～(予定)

三刀屋高校ダンス部

## 懇親会

◎時間 午後4時～(予定)

- (一) 開会のことば
- (二) 実行委員長挨拶(高44期)
- (三) 乾杯
- (四) 特別会費贈呈(紹介)
- (五) 来年度総会実行委員会委嘱(高45期へ)
- (六) 万歳三唱(高45期代表)
- (七) 閉会のことば

懇親会にご参加の方は、支部を通してチケットをお求め下さい。遠隔地又は支部のない方は、希望を予め事務局迄ご連絡下さい。代金は当日、受付でお支払い下さいます様。申込み締め切り 10月6日(金)



# 令和6年 三刀屋高校は開校100周年を迎えます

## 三刀屋高等学校 100周年記念事業進捗報告

百周年記念事業に取り組み組織体制が去年梅雨明けに固まり、その中心的業務を担う委員会が八月末からスタートしたことは、前号で紹介しました。

そこで今年の53号では、更にその進捗概要をお知らせします。これらは、今年に入って4月29日推進委員会第一回役員会で承認された事項も含んでいます。

### 1. 式典日程・会場

令和六年三高祭に合わせて行う。

- 1日目(アスパル)、式典・講演
- 2日目(〃)、文化祭①
- 3日目(高校)、文化祭②
- 4日目(〃)、体育祭

### 2. 開校記念日(4/17)は、

全校朝礼又は終礼

### 3. 校内推進委員会

- 統括・庶務：教頭・事務局
- 部会 (1) 式典部会……総務・生徒部
- (2) 記念誌部会……百周年記念誌
- (3) 写真集・写真で綴る100年……名簿部会……令和4発刊済

### 4. 事務局関係

- 記念誌業者選定・記念品・募金
- 新聞広告(山陰中央、全二面掲載)
- ポスター・航空写真・記念整備事業
- 会計(事務室)・(祝賀会)
- 収入 三〇〇〇万円
- 教職員・生徒・寄付金
- その他(雲南会特別会計、補助金)支出

- 校内整備事業 一五〇〇万円
- メモリアル(記念碑)一〇〇万円
- 校舎内外関係費 七〇〇万円

### (旧正門整備、一人一台端末用)

- ロッカー、調理室冷房設備
- 部活動関係費 七〇〇万円
- (ミーティングルーム、トレーニングルームの一部、吹奏楽部楽器購入)
- 記念誌 七〇〇万円
- 記念式典等 二七〇万円
- 記念品 二〇〇万円
- 広告費 一〇〇万円
- 人件費その他 三三〇万円

### 5. 講演講師

- (卒業生等から選定)

### 6. 記念式典次第(案)

- (1) 互礼
- (2) 開式の辞
- (3) 国歌斉唱
- (4) 旧校歌斉唱
- (5) 物故者への黙祷
- (6) 百周年記念事業概要報告
- (7) 記念事業推進委員会会長式辞
- (8) 校長式辞
- (9) 来賓挨拶
- (10) 来賓祝辞
- (11) 本校創立功労者顕彰
- (12) 来賓紹介並びに祝詞・祝電披露
- (13) 生徒代表挨拶
- (14) 現校歌斉唱
- (15) 閉式の辞
- (16) 互礼

## 「雲南会」組織・運営体制検討状況

雲南会では現在上記の百周年事業に取り組みと共に、これと併行して、雲南会の組織体制と運営の仕方・在り方について検討を進めています。この二つを同時に展開することは、難しいことがある半面、事業を進める中で、組織の不具合が逆に浮き彫りになるという大きな利点もあります。雲南会の運営が会員皆さんにとって

◎その体制と運営の仕方が公平・公正であるか、

◎それが延いては会の目的に沿っているか、

を指針に検討し、膨大な時間と手間を掛けながら、今年で計画の最終年二年目。まだ自分の議論を行います。

統合グループ	検討委員会	開催日	協議題要点
I	1. 組織体制	令和4. 6.25 8.21 令和5. 3.26	○組織・体制の問題点(課題)洗い出し (一) 体育後援会⇄雲南会、関係整理 (二) 組織の洗い直し→本部・支部役員、遠隔支部の困難点 (三) 本部役員、役職の→【付則3、2項】役職、人員、 (四) 休・廃止支部復活、検討(休・廃止要因把握)
	2. 支部・期別支援	令和4. 7.27 10.30	○本部・支部、期別組織体制の総合的問題の洗い出し ○休・廃止支部の現状と打開策、支援策 (一) 不成立状態支部状況把握 (二) 支部活動停滞要因究明<意識の定着策> (三) 期別代表者会の位置付け(付則3) (四) 復活支部起ち上げ案
II 令和5. 5.21	3. 会計処理	令和4. 6.26 8.20	○“本部会計”大枠の理解 ○原資の趣旨⇄支出の用途間の問題点 ○寄付金の設計 (一) 雲南会支部活動⇄体育後援会募金活動の現状理解 (二) 協賛金と体育後援会寄付金の趣旨・相違点整理 (三) 周年期寄付金、宛先
	4. 広報充実	令和4. 6.18 8.5	○広報の現状理解 ○同窓会広報の実態 ○雲南会活動の中心に広報を置く⇒殊に『会報』の充実 (一) 復刊第52号 発行全体計画見直し (二) 『会報編集委員』募集 (三) 『雲南会ホームページ』管理 (四) 『楽しく繋がる雲南会』の模索→創出

# 周年記念に憶う

彼らも行き、我らも行き、  
今君らも行く、この道や、  
遂に遙かなるかな

土岐善磨・歌人  
(一八八五〜一九八〇)

## われらの三高 ここにありと

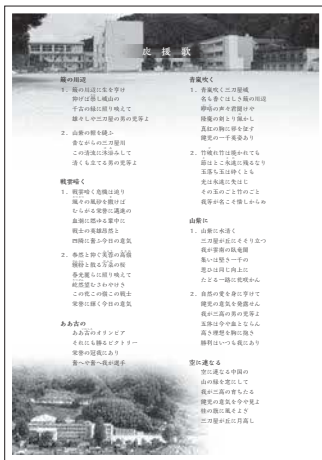
卒業 40 周年  
昭和58年卒業 高35期  
谷口宏幸

平成二十六年十月四日は、『雲南会九十周年総会・記念式典・記念講演及び祝賀会』が開催された日です。この年の雲南会祝賀会担当期は、我々三十五期生が担当しました。九十周年の節目・記念ということで先輩方に相談し、何度も何度も打合せ会を行い、どうにかこうにか当日を迎えることができました。そして、一八〇名の出席者を得、『雲南会九十周年記念祝賀会』が開催できたことを、懐かしく思い出します。我々の期は、雲南会と縁があるように感じます。記念行事に關われたこと、コロナの位置付けが「2類相当から5類」へ変わり、卒業四十周年同窓会(令和五年八月十二日予定)が行えることもそう感じさせる要因です。雲南会の卒業二十・三十・四十周年同窓会は、ともに学び、ともに遊び、ともに過ごした彼の顔彼女の顔に会えるとても有意義な特別な集まりです。卒業してからの何年間は、『雲南会?』



とか『同窓会寄付?』など分からなくて、雲南会すべてを否定するような考えを持っていました。しかし、雲南会の卒業二十周年で初めて総会・祝賀会に出席させて頂き、多少『雲南会』を理解することができました。『雲南会』は今、高校開校一〇〇周年を期に新しく生まれ変わろうとしているところだと聞いています。校歌に、月われらの三高ここにありとひとしくとも誇るべし月とあるように、月われらの雲南会ここにありとひとしくとも誇るべし月と胸を張って言える『雲南会』になるように、我々三十五期も微力ではありますがご協力させていただきます。

最後になりますが、『雲南会』がますますご発展されることと、『雲南会会員さま』のご多幸とご健勝をお祈りいたします。



## 卒業 30 周年

### よみがえった日常

平成5年卒業 高45期  
松谷慶太

卒業30周年を迎え、同級生と思い出を語り合いたいところではありましたが、新型コロナウイルスの流行により開催できておりません。また、タイミングを見計らい計画していきたいと思えます。同期のみなさん待っていてください。さて、私自身の子供も長男が三刀屋高校を一昨年に卒業、長女が現在在学しております。先日は高校総体島根県予選が開催され、長女がバレーボール部に所属しており、松江市総合体育館に応援に参りました。新型コロナウイルスが5類に移行され、入場制限もなく会場に入ることができました。

各校選手たちは、ノーマスクで円陣を組んで大きな声を出しながらチームで鼓舞し試合を戦っておりました。私が強く感動したのは、各校の応援団の様子でありました。松江市内の高校は、数百人規模の大応援団が会場に駆けつけて、太鼓のリズムにあわせて地鳴りのように響く大声援を送っていました。

失われていた、青春の1ページが戻ってきたと強く感じるとともに久しぶりの光景に感動で涙が出そうになりました。

三刀屋高校バレーボール部の応援団は保護者のみではありませんが、みんなが応援の仕方を思い出しながら、久しぶりの声出し応援を楽しみました。

卒業生の皆様におかれましては、遠くのご親族、ご友人と久しぶりの再会など忘れそうになっていた日常を取り戻しておられることと思います。

来年度は三刀屋高校も開校100周年となり、大きなイベント・会合も検討されております。ぜひ多くの卒業生の皆様とお会いできることを楽しみにしております。

## 令和4年度 島根県立三刀屋高等学校雲南会 会計決算書

【収入の部】				
項目	予算額	決算額	比較増減	摘要
入会金	1,900,000	1,855,000	△45,000	会費5,000円
特別会費	450,000	300,000	△150,000	34期、44期
活動協賛金	652,502	814,809	162,307	活動協賛金(3月31日現在、293名より)
雑収入	8	15,067	15,059	名簿販売代金、預金利息
合計	3,002,510	2,984,876	△17,634	

【支出の部】				
項目	予算額	決算額	予算残額	摘要
総会費	400,000	0	400,000	総会経費(高43期)、中止
支部総会費	270,000	210,000	60,000	三刀屋・鍋山・木次・温泉・斐伊・日登・掛合
活動費	730,000	1,489,572	△759,572	会報発送経費・サラト11,909通発送
印刷費	210,000	314,600	△104,600	会報印刷経費13,000部、会計報告書
役員会費	10,000	7,279	2,721	会場使用料、お茶代
卒業記念品	65,000	61,050	3,950	証書ファイル125冊
慶弔見舞金	10,000	0	10,000	
体育後援会寄付金	0	0	0	体育後援会補助
通信費	30,000	45,909	△15,909	郵券代
旅費	550,000	0	550,000	総会中止、東京・大阪支部総会中止
事務費	5,000	28,408	△23,408	
雑費	10,000	18,400	△8,400	卒業アルバム保存用
予備費	712,510	0	712,510	
合計	3,002,510	2,175,218	827,292	

収入総額 2,984,876円 - 支出総額 2,175,218円 = 差引残高 809,658円 …… 特別会計へ上記監査の結果内容の正確なる事を認めます

令和5年4月21日

監事 志林 茂

## 令和4年度 島根県立三刀屋高等学校雲南会 特別会計決算書

【収入の部】				
項目	予算額	決算額	比較増減	摘要
前年度繰越金	6,423,226	6,423,226	0	
繰入金	1,417,637	1,417,637	0	前年度一般会計残金
雑収入	77	64	△13	預金利息
合計	7,840,940	7,840,927	△13	

【支出の部】				
項目	予算額	決算額	予算残額	摘要
激励金	500,000	269,000	231,000	中国・全国大会出場(JRC、男子・女子ソフトボール、演劇)
予備費	7,340,940	0	7,340,940	
合計	7,840,940	269,000	7,571,940	

収入総額 7,840,927円 - 支出総額 269,000円 = 次年度繰越金 7,571,927円  
上記監査の結果内容の正確なる事を認めます

令和5年4月21日

監事 志林 茂

(注) 会務報告は、記念事業関係を含めて2頁に亘る為、紙面の都合で省略します。

# 支部通信

## 掛合支部

### ”活動をふり返って“

支部長 落部 照治

〔普通20期 昭和43年卒〕

2017(平成29)年に島根県立三刀屋高等学校同窓会「雲南会」の下部組織である既存の「掛合支部」「吉田支部」「頓原支部」は残しつつ新たな組織として、「三刀屋高校後援会」(掛合町、吉田町、飯南町)を立ち上げました。本会は掛合町、吉田町及び飯南町に關係する会員相互の親睦を図るとともに三刀屋高校の発展に寄与することを目的とし、同窓生に限らず三刀屋高校を応援して頂ける方に加入を願いました。その活動としては「雲南会」及び「三刀屋高等学校体育後援会」支部活動への支援を初めとした三刀屋高校への支援及び会員相互の親睦が主なものです。

現在、会員数は313名で地域性を加味した役員17名、代議員15名で運営しています。年一回、代議員制による定期総会を開催し、事業報告及び収支決算並びに事業計画及び収支予算などを審議しています。また、総会後において「後援会だより」を発行し、総会における承認事項等について全会員に情報提供を行うとともに年会費のお願い及び新たな会員の加入のお願いに活用しています。第1回総会は全会員の近況、学生時代の思い出話など親睦を深めました。今後も2〜3年に1回は交流会を開催したいと考えております。

令和4年度は10月8日に掛合交流センターにおいて総勢24名で定期総会を

## 大阪支部

### 半世紀振りの木次の桜

支部長 城角 直司

〔普通23期 昭和46年卒〕

開催しました。当日は来賓として山崎誠校長先生、雲南会から佐藤茂会長、稲村隆事務局長をお迎えし、学校及び開校100周年記念事業を初めとした近況報告を受けました。特に体育・文科系の生徒の皆さんの活躍を聞き、私自身勇気をいただきました。また総会を通じて本会発足当初から行っている開校100周年基金の順調な積立に對し会員の皆様方への感謝と開校100周年記念事業の成功を強く心に感じたところでした。総会後は残念でしたがコロナ感染防止を考慮し懇親会は割愛し散会としました。

今後とも雲南・飯南地域における三刀屋高校の存在価値の大きさに鑑み、本会の維持・発展に向けた活動を積極的に行うことにより三刀屋高校の発展に貢献したいと考えています。



### 三刀屋高校後援会

大阪支部は令和二年以降、コロナ禍により総会をはじめ、すべての活動を凍結して参りました。当支部の総会は、近年は二十五名前後の参加ですが、その内七十歳以上が約八割を占めているが為、万一のコロナの集団感染の場合の重症化リスクを勘案すると、主催する事務局としては、安易な総会の再開には聊かためらいが伴うのは否めません。さはさりながら、目下、総会再開に向けて準備中のところであり、当支部総会には五十代未満の新たな参加者に乏しく、事務局の役員を含め高齢化と参加人数の頭打ち傾向は、悩ましいところでした。

さて、去る三月末に同窓生の病氣見舞いの帰省の途、斐伊川土手に車が差し掛かるや、なんと目の前に飛び込んできたのは、木次の満開の桜。高校卒業以来、五十二年振りの故郷の桜。広島、岡山等のナンバーの車も入り混じってなんと渋滞まで発生。車を降りれば、外国人観光客の姿も垣間見られ大賑わい。かの桜名所は隔世の感。中国地方随一と称される約二キロに亘る桜のトンネルが続く光景は今更乍ら圧巻。思わずLINEで手当り次第に知人に自慢げに写真を送信。桜土手をそぞろ歩き、日が暮れ始めたので、旧友を呼び出して居酒屋へ。「ウグイの背ごし」を肴に一献。杯を重ねながらふと同窓生が花見に集い、旧交を温められたら等と思いつつ、友の顔を浮かべて夢見心地のほろ酔い酒。

来年は母校は折りしも百周年。帰省の頻度は少なくなりがちな方も多からうが、これを機に、祝宴や年次毎の同窓会等が開催され、できれば多くの卒業生が祝い集う機会になればと折念しています。

## 百周年記念事業募金が、愈々、始まりました!

- ◎「百周年募金」が始まっています。期間は、令和五年一月一日〜六年十二月三十一日迄
- ◎記念事業の趣旨・内容は、一月末送付した「会報52号」同封の趣意書でご確認ください。本誌二頁・中段の記事でも少し詳しくご確認できます。
- ◎会員の皆さん、本趣旨にご賛同していただける皆さんの母校支援の志をお願い出来れば...と思います。
- ◎そして早くも、もう募金期間の四分の一が経過しました。お一人お一人のご協力、何卒宜しくお願い致します。

## 活動協賛金は、従来のまま

▼今年一月末、全会員の皆さん宛、会報「うんなん」が(募金)趣意書、専用振込用紙と共に送付されて来たかと思えます(同封の書類としては、

- ・「活動協賛金協力者」ご芳名
- ・令和3年度会計・特別会計決算
- ・雲南市パンフ「ふるさと「うんなん」」に帰ってきませんか?

が同封されていますのでご覧ください。

▼百周年募金は一口3,000円としておりますが、この度は百年に一度の大事業ということもありますので、できる範囲での複数口の納入をお願いしたく思います。

▼尚、「百周年記念事業募金」専用振込用紙は今年二月前会報にも同封し、既に募金を了えられた方には大変失礼な事になります。手間の都合上、全会員に再度送付しましたので、何とぞご理解賜りますよう。



▼振り込みしていただく金額は一口千円となっております。(但し、複数口ご協力いただける方は、誠にお手数ですが郵便局でお振込みください。一口の場合、郵便局はもとより、コンビニ、スマホアプリでも振込が可能です。)

▼振込口座番号は、本誌一面紙名欄下部の枠内に記載しております。

▼また、この協賛寄金にご協力いただいた方々は、ご芳名を会報と同封してお送りしておりますので、ご確認ください。

▼できるだけ幅広い方々の協賛を得たく存じますので、何卒ご協力いただけますよう宜しくお願い致します。

# 校友 シリーズ 探訪

第二回目の探訪は、昭和40・3卒の日本近代文学研究者として著名な木次町出身の岩佐壯四郎氏です。確か5・6年前、編集子は関東学院大出版会から出された氏の『点景 昭和期の文学』という本を読みました。川端康成の「死者の書」、三島由紀夫「復讐」、野坂昭如「火垂るの墓」といった作品を通して一九三〇年代〜七〇年代の昭和という複雑な時代表情に光が当てられており、エッセイも収録されています。



近影 岩佐壯四郎氏

わたしが入学したのは一九六二（昭和三十七）年のことである。松江の工業・商業・農林や大東高校・職業訓練所などに入る者もいたが、多くは、隣町にある三刀屋高校に進学した。木次には、高校がなかったからである。もちろん、中卒で学校生活を終える同級生も少なくはなかった。木次駅からは、京阪神に向かう集団就職列車が毎日のように出た。

## 私が歩んだ五十年

高十七期 関東学院大学名誉教授 岩佐 壯四郎

—日本近代文学・比較文学研究者—

三刀屋には、自転車で通った。地王峠をこえての道は遠かったが、楽しかったのは途中で道草もしたからだろう。そのためではないが、毎朝、遅刻をした。いつものまにかわたしは遅刻の名人として、他のクラスでも有名になった。そのうち、遅刻しないと、なんとなく居心地が悪く感じるようにまでなった。町上から細長い木次の町を縦断して兵庫小路の我が家まで迎えにきてくれたヒデキヤンこと陶山秀樹君などもさすがに呆れ果て、一畑バスでのバス通組に転向してしまっただけ。

三年のときに東京五輪があった。ドヤ顔の三波春夫の唄う『東京五輪音頭』が巷に溢れ、また、「赤い夕陽が校舎を染めて…」と、やや長めの髪を七三に分けたイケメンの舟木一夫が歌いだす『高校三年生』が口遊まれた。一九六五年四月、わたしは大学に入学した。入学時納入金十一万五千円は、毎日新聞本石町専売所の店主正木一雄

氏から借りた。住み込みで部屋代なし、食事つき月九千円の給料で、入学金は、月々の給料から、三千円を返済するという条件。斡旋して下さったのは曾田武夫先生である。入ってまもなく、平田市出身の金融王森脇将光氏が私財で、郷里出身の在京学生五名に月一万円ずつ給付することになり、わたしもその

一人に選ばれた。このときには、曾田先生はじめ、当時は元気だった多々納万範、森脇氏の甥の森脇三郎など、母校の先生たちが尽力して頂いたことを後で知った。森脇奨学金は、やがて沙汰やみになったが、おかげで借金の多くは返済できた。

一年生の終り頃、大学で騒動が起った。それまで年間五万円の授業料が八万円に値上げされるのを契機にした反対闘争は、ワセダは貧乏人を閉め出すのかというスローガンのもとに忽ち全学に広まるだけでなく、半年間も大学が封鎖されるという大騒動に発展し、社会的にも話題になった。いわゆる全共闘運動の開

**岩佐 壯四郎 氏** 木次町出身／関東学院大学名誉教授・博士(文学)

- 1969 早稲田大学国文科卒
- 1976 山口女子大学専任講師
- 1977 早稲田大学大学院文学研究科博士課程満期退学
- 1979 関東女子学院大学助教授
- 2001 関東学院大学文学部教授
- 2015 関東学院大学名誉教授

この間 鎌倉学園、島根県立浜田高校、早稲田大学、青山学院大学、鶴見大学等で教鞭を執る。

【著書】

- 『世紀末の自然主義 明治四十年代文学考』有精堂出版、1986年
- 『抱月のベル・エポック 明治文学者と新世紀ヨーロッパ』大修館書店、1998年(サントリー学芸賞受賞)
- 『日本近代文学の断面 1890-1920』彩流社、2009年
- 『島村抱月の文藝批評と美学理論』早稲田大学出版部、2013年

その他、多数

始である。わたしも新聞店をやめ、寮費月額九百円の九段の東京学生会館に入った。靖国神社近くの、旧近衛第三連隊の兵舎に、復員した学徒出陣の動員学徒が住み着いて始まった学生寮で、復員学徒援護会という団体が運営していた。ジョン・レノン、ポール・マッカートニー、ジョージ・ハリスン、リング・スターの四人組「ビートルズ」の日本公演がすぐ向かいの日本武道館で行われて、寮生たちがガードマンとして大挙雇われたのも、また、三刀屋の秀才のトンちゃんこと小西富雄君なども遊びにきて、味噌汁十円の寮生食堂で、ビールで乾杯して久しぶりの再会を楽しんだのも、この頃のことが。ここまで書いてきて、約束の字数も尽きた。「去年の雪／今何処？」妄言多謝！とりあえずダンダン。

## 母校だより

### (1) 進路概況

#### ■ 令和4年度合格数 (延べ数)

	国公立大学	私立大学	公立短大	私立短大	看護・医療・福祉	各種専門	大学校等	民間就職	公務員	進学準備等	合計
現役	23 (1)	75	9	9	23	13	2	10	3	3	170

#### ■ 主な合格校

国公立大学	鳥取大 (2)、鳥根大 (9)、愛媛大 (2)、愛知県立大、鳥取環境大、島根県立大 (6)、高知工科大、北九州市立大 (2)
私立大学	城西大、芝浦工大、日本大、法政大、東京都市大、立正大、岐阜女子大、京都産業大 (4)、京都女子大、京都橘大、同志社大、龍谷大、大阪学院大、大阪産大、大阪大谷大、桃山学院大、甲南大、兵庫医大、天理大 (2)、鳥取看護大 (2)、岡山商大、岡山理大 (5)、川崎医療福祉大 (3)、吉備国際大、就実大 (2)、美作大、岡山学院大、環太平洋大 (2)、比治山大、広島経大 (2)、広島工大 (6)、広島修道大 (6)、広島文教大 (3)、福山大 (3)、福山平成大、安田女子大 (3)、広島都市学園大 (2)、四国大 (2)、徳島文理大、松山大 (3)、九州情報大
公私立短期大学	三重短大 (3)、島根県立大短大部 (6)、京都経済短、鳥取短 (2)、大阪健康福祉短大 (2)、岡山短大、川崎医療短大、広島文化学園短大、福岡工業大短大部
看護・医療福祉系専門学校	島根県立石見高等看護学院 (2)、広島県立三次看護専門学校、浜田医療センター附属看護学校 (3)、島根リハビリテーション学院 (3)、出雲医療看護専門学校 (6)、松江総合医療専門学校 (2)、大阪労災看護専門学校、関西看護専門学校、玉野総合医療専門学校、岡山医療福祉専門学校、島根県歯科技術専門学校、トリニティカレッジ 広島医療福祉専門学校
専門学校ほか	島根県東部高等技術校、島根県立農林大学校、松江栄養調理製菓専門学校、松江理容美容専門学校、大阪総合デザイン専門学校、大阪社体スポーツ専門学校、修成建設専門学校、尚美ミュージックカレッジ専門学校、坪内総合ビジネスカレッジ (5)、広島ビューティー&ブライダル専門学校、広島美容専門学校

### (2) 就職概況

#### ■ 求人状況

年度	R4
県内求人	183
県外求人	686
計	869

#### ■ 就職内定先

県内	株式会社出雲村田製作所
	梅木建設株式会社
	有限会社小林貸衣裳店
	株式会社ジェイ・エム・エス出雲工場
	千鳥印刷株式会社
県外	ホシザキ株式会社 島根工場
	株式会社丸八ポンプ製作所(事務職)
	株式会社やまと(ユニクロ出雲店)

県外	株式会社 藤丸
----	---------

#### ■ 公務員合格者

採用種別	R4
島根県職員	1
島根県警察官	1
雲南市職員	1
合計	3

# 部活動報告

## 男子ソフトボール部

### インターハイ出場へ

主将 佐倉 佑綺

私達、男子ソフトボール部は河上先生と嘉藤先生のご指導のもとで日々の練習を頑張っています。昨年に引き続き、今年も県総体で安来高校に勝利することができ、インターハイに出場することができました。昨年はコロナウイルスの影響で、先輩方と全国の舞台でプレーすることができませんでした。その先輩の想いや普段応援していただいている地域の方々、保護者の方々のためにも全力プレーで最後まで戦い、全国ベスト16を目指します。

学年問わず仲が良く、チーム力の向上のためお互い言い合えることがこのチームの強みです。プレーが合わない際やミスが出た際には学年関係なく、聞き合い、教え合いながら切磋琢磨しています。先生方も優しく指導してくださいませ。遠征などで県外チームとの試合も多く、時間を守ることや周りを気遣うといった集団行動をする上で必要なことや人間性を磨くことも大切にしています。今後もしも応援よろしくお願いします。



## サッカー部

### 県総体初のベスト4

キャプテン 飯塚 敦也

私たちサッカー部は「公式大会優勝」を目標に活動しています。今年は5月末から6月初めにかけて行われた島根県総合体育大会で、創部以来初となる、県ベスト4という結果を残すことができました。

準決勝では全校応援を決定していたとき、最高の雰囲気の中でプレーすることができました。今まで僅差で敗れ、悔しい思いで終わることが多かったのですが、今回の大会では自分たちの勝負強さを発揮できたのではないかと思います。

ですが、頂点に届かなかったことも事実です。これからは島根一を目指す戦いが始まります。応援してください。皆さんに再び良い報告ができるように頑張ります。これからもサッカー部として三刀屋高校への応援をよろしくお願いいたします。



## 演劇部

### 第69回全国高校演劇大会で上演

部長 中村 美涼

三刀屋高校演劇部は、目標であった全国大会連続出場を果たし、今年7月30日〜8月1日に鹿児島市民文化ホールで開催される第69回全国高等学校演劇大会(鹿児島大会)に参加します。今大会で上演する「ローカル線に乗って」というお芝居では、大正5年の開通から百余年にわたって私たちの故郷を見守り続けてきた木次線をテーマに、昭和、平成、令和の時代とその時代に生きた人々に思いを馳せ、今ほど便利ではなかった時代の人々にとつての豊かさとは何だったのかを、木次線に関わりのある故郷の人々の記憶から演じていきます。そして、便利になつた令和の時代においても変わらない普遍的な豊かさについて見つめ直すきっかけを、木次線に関わつた故郷の人々の思いから令和の時代に届けたいと思っています。観てください。人の心に少しでも届き、豊かさの多様ななかについて考える機会につながってくれることを願っています。

全国大会までに、文化フェスティバル、自主公演を行います。一つ一つの本番に全力で取り組み、それらの反省を踏まえて、全国大会を最高の舞台にしたいと思えます。応援よろしくお願いします。お待ちしております。



## ダンス部

### 正式部活へ

部長 高橋 日和

このたび、ダンス部が正式な部活動として認められました。これは学校の先生方や保護者の方、地域の方そして応援してくださいました皆様のお力添えがあつたことです。心より感謝申し上げます。

ダンス部は昨年度までは同好会として活動していましたが、メンバーの熱意や活動の質が評価され、今年度からは部活動として活動できることになりました。

私達ダンス部が一生懸命練習し、自分達が心から楽しむというその思いがダンスに表れることで、沢山の方の心に届くのだと知ることができました。私達のダンスを見た全ての方に「元氣と感動」を与えられるようなダンスを目標に、これからも沢山のことに挑戦していきたいと思えますので応援よろしくお願いします。



# 編集室通信

▼52号の編集後記でお約束していましたが「次号は6月末に」を掲載記事の都合で、又二ヶ月遅れの発行となりましたこと、お詫び申し上げます。▼昨年三月の会報発行直前、2月24日突然ロシアがウクライナに侵攻、以後国内でも、一国の首相が凶弾に倒れ、コロナウイルス感染者も増え続けました。こうして振り返ってみると、確かに事故事件は、相次ぎましたが、一方、サッカーWカップ、WBC、昨夏優勝し今年も又次々強豪校を連破、決戦に勝ち上がった仙台育英の若者たちのめざましい活躍は、改めて同時に明るい希望を感じさせるものでした。「試練は、いつも希望と共にやってくる」—ことを実感します。

▼今回も事務局と相談の上、全員配布をしましたが、何分経費の掛かることなので、まだ次号の計画が立ちません。今後とも「組織体制・運営検討会」等で議論を深めたいと思います。▼100周年記念事業推進のための募金については、本紙4頁下段に記載しておりますが、現時点で募金期間の約四分の一が経過しました。十一月には本年第二回の役員会を開き、現状報告を予定しております。会員の皆さんの格別のご理解を又宜しくお願い致します。

## 編集委員大募集!

会員の皆さん、みんなで会報の編集をしてみませんか?お茶を飲みながら雑談会を兼ねて...

- 〈53号編集Ⅱ広報の充実検討G〉
- 室下義富 (18期・題字揮毫)
- 佐藤 茂 (18期)
- 妹尾福子 (20期)
- 須山哲好 (22期)
- 奥井 満 (23期)
- 古林 茂 (27期)
- 藤原重信 (28期)

